

セコム株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：サービス業 ● 事業概要：セキュリティ、防災、メディカル、保険、地理情報サービス、情報通信、不動産 ● 事業規模：単体売上高 3,824億7,600万円 連結売上高 9,280億9,800万円 (2017年3月期)
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p>＜<u>Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞ 国内セキュリティ事業グループ27社の2030年度の温室効果ガス排出を、2013年度比で35%削減する。</p> <p>＜<u>Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み</u>＞ セキュリティ事業グループ27社の購買額上位70%のサプライヤーに、2030年削減目標を設定させる。</p>

セコム株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<p>● Scope 1・2・3の排出量の状況</p> <p>下流のリース資産 10.2%</p> <p>販売製品の廃棄処理 0.1%</p> <p>販売製品の使用 7.2%</p> <p>従業員の通勤 1.5%</p> <p>出張 0.5%</p> <p>事業活動で発生する廃棄物 0.2%</p> <p>上流の輸送・流通 0.1%</p> <p>燃料・エネルギー関連活動 1.3%</p> <p>資本財 3.9%</p> <p>合計 533,176t</p> <p>購入製品・サービス 59.7%</p> <p>ガソリン等 8.3%</p> <p>電気 6.9%</p> <p>Scope 1 8.3% (44,480t)</p> <p>Scope 2 6.9% (37,053t)</p> <p>Scope 3 84.7% (451,643t)</p>	<p>● SCOPE1 : 44,480 [tCO₂]</p>
		<p>● SCOPE2 : 37,053 [tCO₂]</p>
		<p>● SCOPE3 : 451,643 [tCO₂] 目標の対象セクター : 購入製品・サービス</p>

セコム株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動の影響より、暴風雨、集中豪雨や落雷などの頻度・強度が増加した場合、電力、通信、交通などの社会インフラが一時的もしくは断続的に機能を停止する恐れがある。このような状況でもお客様に安心・安全を提供し続けることができるよう、機器やサービスの信頼性を向上させる必要があり、コストアップの要因となる。一方、お客様は建物・設備など事業所の安全確保、社員の安否確認、情報セキュリティといったBCP対策が必要となり、弊社のセキュリティ・情報通信・防災事業など、様々なサービスをご利用いただけるビジネスチャンスと考えている。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社が目指す安心・安全で快適な暮らしの基盤が、地球環境の保全であるという認識のもと、地球温暖化防止、資源循環利用、生物多様性の保全などの環境保全活動に取り組んできた。これまでは2020年までのCO2排出の削減をKPIとして地球温暖化防止に取り組んできたが、「パリ協定」の発効、日本政府の「地球温暖化防止計画」を踏まえ、新たに2030年中期目標を策定し、SBT認定を目指している。

セコム株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討し、取締役会の承認の上、セコムグループ環境会議でグループ各社の同意を得て、中長期目標を策定・開示した。● 目標の実現可能性については社内で意見があったが、温暖化進行の実態と世界の趨勢から35%程度の削減は社会的な責任であるとの説明に、比較的容易に理解を得ることができた。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● 現状の中期目標はメイン事業分野であるセキュリティ事業のみを対象としており、SBTの目標対象と整合しないことが分かった。今後、目標の見直しや対象の拡大を行なう必要がある。